

授業科目	整形外科学	2 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		理学 作業	必修 必修

科目担当責任者	渡邊耕太 (保健医療学研究棟 E410 号) e-mail : wkota@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(江森誠人)、(小助川維摩)		
概要	脊柱および四肢の骨・関節・神経・筋組織は身体の運動に直接関与する。これら運動器に発生する外傷・障害を機能解剖、病態生理の面から解説し、保存的・外科的治療の適応と方法を解説する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動器における外傷障害の病態および治癒機転を説明できる。</li> <li>2. 上肢の外傷障害の病態と治療を説明できる。</li> <li>3. 脊椎・体幹の外傷障害の病態と治療を説明できる。</li> <li>4. 下肢の外傷障害の病態と治療を説明できる。</li> <li>5. 末梢神経の外傷障害の病態と治療を説明できる。</li> <li>6. 関節リウマチの外傷障害の病態と治療を説明できる。</li> <li>7. 運動器における感染症と腫瘍の病態と治療を説明できる。</li> </ol>		
関連科目	リハビリテーション医学、解剖学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	学習態度	20%	講義中は積極的な発言を求める。
	筆記試験	80%	
教科書	① [最新版] 「標準整形外科学」 医学書院		
参考書	①青木光広 [最新版] 「からだの機能と運動療法 上肢・体幹」 メジカルビュー社 ②内山英一 [最新版] 「からだの機能と運動療法 下肢・骨盤」 メジカルビュー社		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	整形外科総論	事前：整形外科についての概念を整理する。 事後：配布資料	講義	渡邊
2	骨、関節、腱・靭帯における外傷障害の治癒機転	事前：運動器の解剖についての知識を確認しておく。	〃	〃
3	運動器障害の診断と治療 総論／画像診断	事前：診断に用いる画像の種類、その特徴をおさえる。 事後：配布資料	〃	〃
4	上肢の外傷障害の病態と治療	事前：上肢に特有な運動器障害について整理する。 事後：配布資料	〃	〃
5	肩関節の外傷障害の病態と治療	事前：肩関節の特殊性について確認する。 事後：配布資料	〃	(未定)
6	手指・手関節の外傷障害の病態と治療	事前：手指の複雑な動きがいかにしてなされるかを理解する。 事後：配布資料	〃	渡邊

7	脊椎・体幹の代表的外傷障害の病態と治療1	事前：脊椎・体幹の機能とその障害への対策。 事後：配布資料	〃	〃
8	脊椎・体幹の代表的外傷障害の病態と治療2	事前：脊椎・体幹の外傷の理解とその対策。 事後：配布資料	〃	〃
9	股関節の代表的外傷障害の病態と治療	事前：股関節特有の運動器障害について整理する。 事後：配布資料	〃	(小助川)
10	膝関節の代表的外傷障害の病態と治療	事前：膝関節特有の運動器障害について整理する。 事後：配布資料	〃	渡邊
11	足関節の代表的外傷障害の病態と治療	事前：足・足関節特有の運動器障害について整理する。 事後：配布資料	〃	〃
12	末梢神経の外傷障害の診断と治療	事前：末梢神経の構造からその傷害を理解する。 事後：配布資料	〃	〃
13	関節リウマチの病態と治療	事前：関節リウマチとその類縁疾患の整理、鑑別点。 事後：配布資料	〃	〃
14	運動器における感染症と腫瘍の病態と治療	事前：良性・悪性腫瘍の違いをおさえる。 事後：配布資料	〃	(江森)
15	骨粗鬆症の病態と治療	事前：骨粗鬆症の問題点とその対策。 事後：配布資料	〃	渡邊